



ポトムの楽校

クロスワードパズル

せいがいしゃ ちほつせん
**正解者には抽選で
図書カードをプレゼント!**

答えはすべて
かなでかいてね。

【タテのカギ】

- 1 干潟にいるハゼのななかま。目のとびだしたユーモラスなさかな
- 2 秋のくだもの。「さるかに合戦」に出てくる
- 3 地面や岩のあいだから出るすんだつめた水。「清水」とかくよ
- 4 秋のイベントといえばこれ! 赤勝て、白勝て…
- 5 おひるの前は「午前」。おひるからあとは?
- 8 栃木県を流れる那珂川と常川のあいだにできた扇状地。「那須野」とかくよ
- 9 魚の名前。漢字で「鰯」とかくよ
- 10 風車。風上。訓読みで、この「風」の読み方は?

【ヨコのカギ】

- 1 ○○○あるところにおじいさんとおばあさんが…
- 4 「雨がふったあと」のこと。「雨後」とかくよ
- 6 9月の十五夜と10月の十三夜におそなえるおだんごのこと
- 7 こんかいの「ダム探検隊」は何人? 数字を答えて(1~3ページを見て)
- 8 新しいこと。文字にすると「NOWい」。今はあまり使わない?
- 10 ポトムと利根川博士が見に行った「多自然型川づくり」の川は?(6~7ページを見て)
- 11 草津温泉で源頼朝がこしかけた石は?(1ページを見て)

【答え】二重わくの中の字をABC順にならべてね。それが答えだ。

A B C D E

(ヒント: 子ども記者がおとずれたのは…)



答えがわかった小・中学生は、住所・氏名・学校名・学年・電話番号・答え(A B C D E)を明記のうえ、メール・ファクス・はがきのいずれかで送ってね。正解者の中から抽選で20人に図書カード(1000円分)をプレゼントします。また、この「川の子ども新聞」を読んだ感想(いちばんおもしろかった記事・おもしろくなかった記事)・意見・質問・取り上げてほしい記事なども送ってね。感想や意見などを送ってくれた人にはオリジナルグッズをプレゼントします。

■あてさき
〒371-8666 前橋市古市町1-50-21
上毛新聞社広告局
「川の子ども新聞」係

■ファクス/027-254-9904

■メール
<http://www.raijin.com/kawai>にアクセスして、応募フォームから送信してね(携帯電話からもアクセスできます)。

■しめきり/2005年11月10日(木)

■前回(第12号)のこたえ

「なつやすみ」



たくさんの応募ありがとうございました。



ポトムのQ&A

どうしてもわからなくて、どうしても知りたいこと、あるんだけど…教えてポトムくん!

Q ダムが「からっぽ」になったらどうなるの?

A ダムがからっぽになると、ダムから下流の川に放流している水がなくなり、川の水が少なくなる。川の水が少なくなると、下流の町や村で、のみ水や、田んぼで使うための水もほとんどなくなって、モノがつくれなくなってしまいます。それから、工場で使う場ではモノをつくるために、モノを洗ったり、機械を冷やしたり、たくさんのお水を必要とするので、たくさんの人が生活するのにこまってしまう。このように、水がとてもしなくなると、いろいろな被害が出ることを「渇水」というよ。渇水がふせぐには、みんなが日ごろから「節水(水をムダ使いたないこと)」をこころがけて、ダムのお水をたいせつに使うことが必要なんだ。



ほとんど水がなくなってしまった矢木沢ダム

Q 川に水が流れているのに、どうやってダムをつくったの?

A そうだね。これはほとんどみんながもっている疑問じゃないかな。たしかに、川に水が流れていけば、ダムをつくる事はできない。だから、ダムの工事のあいだは、川の水の流れを変えるようにするんだ。どうするかというと、まず、いま流れている川をせき止め、流れを変えるためのトンネル「バイパス水路」をつくる。つぎに、川の水をバイパス水路に流し、もとの川のの流れをなくす。それから、ダムの工事を始めるんだ。工事をしているあいだは、川の水はバイパス水路を流れているから、大きな機械や、作業をするたくさんの人たちによって工事をすることができるとわかった。そのあと、ダムができあがり、バイパス水路をふさぎ、流れていた川の水をもとの川の流れにもどす。すると、ダムに水がたまるんだ。



●利根川ダム資料館あない図
前橋市元総社町593-1 ☎027-251-2272
開館時間/9:30~16:30 入館無料
※土日祝日も開館しています。

●利根川ダム資料館からのお知らせ
「クイズラリー」開催中
オリジナルグッズをゲットしよう!

「石ころアート」と「木のストラップ」の体験コーナーが好評
無料!

お部屋のインテリアに、また携帯電話のストラップに、自然のやさしさがあふれる世界でたった1つのものができるよ。どんどん体験してね。

●利根川ダム統括管理事務所からのお知らせ
「川と水の見学ツアー」
参加者募集 親子100人

11月12日(土)「利根大堰(三代田町・埼玉県行田市)と「さいたま川」の博物館(埼玉県寄居町)と意見交換会
参加資格/小学生とその親 ○参加希望者は、官製はがきに住所・氏名・年齢(参加される方すべて)、電話番号、集合場所希望先を明記の上、左記あて先の「川と水の見学ツアー」へお申し込みください。※申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。○参加費用/1人100円 ○集合場所・時間/前橋市(利根川水系統括管理事務所)9時45分・沼田市(利根川水系統括管理事務所)8時45分・みなかみ町(水鏡行館)8時 ○申し込み締切/10月31日(月)当日消印有効 ○参加決定者には直接ご連絡いたします。○申し込み・問い合わせ先/〒371-0804 前橋市元総社町593-1 国土交通省利根川ダム統括管理事務所 ☎027-251-2272

※読者のみなさんから提供していただいた個人情報は、プレゼント当選者への発送や子ども記者当選者への連絡用として使用させていただきます。それ以外の「目的外利用」はいたしません。

「川の子ども新聞」編集委員会

群馬県小学校中学校教育研究会
前橋市立二宮小学校教諭
前橋市立瀧小学校教諭
塩澤 巻浩

群馬県小学校中学校教育研究会
前橋市立立川小学校教諭
前橋市立立川小学校教諭
仲川 博雄

民俗学研究者
板橋 春夫

国土交通省利根川ダム統括管理事務所長
板橋 春夫

NPOぐん代表
熊倉 浩靖

第14号の子ども記者を募集します。

きみも記者になってみよう!

「ぼくも(わたしも)記者をやってみたい!」。そんな小・中学生は、上のクロスワードパズルの応募といっしょに「子ども記者参加希望」と書いて送ってね。希望者が多いときは抽選します。どんな取材をするのかについては、あとで本人に連絡するね。